

神戸工業高校生のみなさんへ



4月から職場復帰した養護教諭の松浦です。1, 2年生ははじめまして、3, 4年生はお久しぶりです。(保健室を利用しない人は覚えていないかもしれませんが…)

約1年半ぶりに職場復帰でドキドキしていたら、まさかの休校。在宅勤務に変わり、自分が想像していた職場復帰ではありませんでした。正直、「なんてタイミングの悪いときに復帰してしまったのだろう」と後悔もしていました。

私は「家ついていっていいですか?」というテレビ番組が大好きで毎週欠かさず観ています。インタビューをして、OKをもらえたらその人の家にお邪魔するという番組なのですが、様々な人が登場してその人ひとりひとりの歩んできた歴史や考え方を知ることができて、とても面白いです。最近観ていた時に、一人のニューヨークの大学生についていった回とその後を含めた放送がありました。この青年は3歳の時に両親が離婚して父親と離れ、16歳の時には母親を亡くしています。今年の冬はドイツに留学をしていたのですが、コロナの影響で帰国せざるをえなくなってしまいます。その時にずっと会っていなかった父親と一緒に暮らしはじめます。父親には新しい家庭があったので、義母や妹もいます。その青年はインタビューで「コロナの影響がなかったらドイツももっと楽しめたとし、新しい友達とももっと遊びたかった。でも、コロナの影響のおかげで父親の家族と一緒に暮らすことができた。自粛生活がなければ、こんなに仲良くなることなんてなかった。仲良くなれて、家族になることができて本当によかった」と答えていました。

これを見て私はとても感動しました。そして、考え方ひとつで幸せにも不幸にもなれるんだなあーと改めて実感しました。

コロナの影響で私はみなさんにも会えず、仕事もコロナの関係メインになり、健康診断の計画ももう1度立て直していかなければなりません。けれども、自粛生活のおかげで、本来なら子どもとは保育園に預けられて接する時間が減る予定だったのですが、思いのほか長く過ごすことができています。これはこれで、とても幸せなのかもしれません。

自粛生活でネガティブになりがちですが、ポジティブな見方をすることで、気持ちも上向きになれます。これは自分自身でなんとかできることです。

みなさんも、プラスに考えて明るくこの事態を乗り越えていきましょう。



会えるのを楽しみに
しています♪♪
松浦